

東成区区の目標（何をめざすのか）

- ・ 区民ひとりひとりが未来に希望を持てる住みよいまちをめざす
- ・ 区民がまちづくりや区政に参画し、生きがいを感じ、安全・安心でいきいきとしたまちをめざす

東成区の使命（どのような役割を担うのか）

- ・ 区民の要望や地域活動情報を多面的に把握し、区役所が主体的に調整機能を発揮することで、地域特色を活かしたまちづくりに区民と協働して取り組み、多くの区民にまちづくりや区政に参画してもらう
- ・ 区民の日常生活の安全・安心や子育て、教育、福祉などを担う総合拠点として、区の課題解決に取り組むとともに、区民が利用しやすく信頼される区役所とする
- ・ 東成区のために区民とともに目標とするまちづくりを進める職員を育成する

平成28年度 区運営の基本的な考え方（区長の方針）

- ・ 区の防災力の強化に向けて、地域の特性を踏まえた防災活動を支援するとともに、学校との連携を深めるなど地域や学校の防災・防犯意識の向上に取り組みます。
- ・ 地域で安心して子育てができる環境を作るとともに、地域や学校・PTA等との連携により特色ある学校づくりを推進します。
- ・ 高齢者や障がい者が安心して暮らせるよう、地域社会全体で支援する仕組みづくりを進めるとともに、区民の健康に対する意識の向上に取り組みます。
- ・ 地域の実態に合った活動を進められるよう、地域活動協議会への支援及び区民・各種団体等との連携の強化、地域資源の活用により、多くの区民の参加によるまちの活性化に取り組みます。

平成28年度運営方針(素案)の5つの柱

1. 安全で安心なまちづくり(防災・防犯)
2. 教育環境と子育て支援の充実
3. 地域福祉と健康づくりの充実・推進
4. まちの魅力向上
5. 区民が利用しやすく信頼される区役所づくり

平成 28 年度東成区運営方針（素案）の策定に向けて

課題 2 教育環境と子育て支援の充実「子どもが育つ教育環境」

現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

- < 生活習慣 >
- ・朝食を毎日食べている割合
小学生...大阪市 92.9[-0.5 ポイント]、全国 96.3%[-0.3 ポイント]
中学生...大阪市 87.9%[-0.5 ポイント]、全国 93.5%[+0.1 ポイント]
 - ・毎日同じくらいの時刻に寝ている割合
小学生...大阪市 72.8%[+0.1 ポイント]、全国 79.2%[+0.3 ポイント]
中学生...大阪市 70.7%[-0.5 ポイント]、全国 74.1%[-0.2 ポイント]
- 【平成 27 年度全国学力・学習状況調査】[]は前年度比較

要因分析（現状・データから導かれる分析結果）

- ・子どもは家庭生活をはじめ、学校、地域など社会における様々な経験や人との交流を通じて成長していくことから、朝食の喫食の有無や睡眠時間などの生活習慣の課題や様々な体験機会の減少などがその要因の 1 つとして考えられる。

課題（上記要因を解消するために必要なこと）

- ・健全な生活習慣の形成や多様な体験ができる環境づくりのためには、家庭はもとより学校、地域が連携して、子どもや学校を支える環境作りが必要である。

平成 27 年度東成区運営方針

主な取組みと中間振り返り

- < 取組実績 >
- 取組み名【子どもが育つ環境整備】
 - ・学校長との意見交換会：5 回
 - ・教育行政連絡会：2 回
 - ・学校協議会への職員の参加：12 回
 - 取組み名【学校との連携強化】
 - ・区役所が協力した土曜授業等の実施：3 回
- < 中間振り返り >
- 取組みは予定どおり進捗しており、目標を達成できる見込みである。

平成 28 年度東成区運営方針策定の方向性

区役所が考える方向性

- 【めざすべき将来像】(概ね 10 ～ 20 年を念頭に設定)
- ・学校、保護者、地域等が協力し合い、子どもたちにとって良好な教育環境が整い、子どもたちは、将来を生き抜く力を身につけて、それぞれの可能性を伸ばせるようになっている状態
- 【めざす状態】(概ね 3 ～ 5 年を念頭に設定)
- ・地域・保護者・学校等と連携し、子どもや学校を支援する環境が整っている状態
 - ・特色ある学校づくりが推進されるよう、学校と区役所の協力関係が構築されている状態
- 学校長等との意見交換を通じ特色ある学校づくりに取り組む。

メ モ



小学校での「防災教室」や「防犯教室」の様子

平成 28 年度東成区運営方針（素案）の策定に向けて

現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

- 子育て世帯に対する地域や東成区の取り組みについての満足度：66.7%[+24.4ポイント]
 学校就学前の子育てに関することで、困ったときの相談先の割合（複数回答可）＜上位項目＞
 家族・親戚・知人等：98.0% / 幼稚園・保育所（園）：41.2% / 子育て支援センター・子ども子育て
 プラザ：15.7% / 区役所：7.8% / 地域子育てサークル：7.8%
 東成区や各校下で取り組んでいる子育て支援事業に参加したことのある割合：49%[-2.3ポイント]
 【～平成26年度区民モニター】[]は前年度比較
 ・平成27年4月1日現在 保育所待機児童：0人

要因分析（現状・データから導かれる分析結果）

- ・子育て世代に対する地域や行政の取り組みへの満足度は昨年度よりも大幅に高い結果となった。子育てイベントや講座など、地域団体や子育てサークル、企業等との連携した取り組みの成果が少しずつ表れてきたものと考えられる。
- ・地域の子育て支援機関における子育て相談の割合が低く、行政や地域の子育て支援事業への参加についても約半数と少ない。相談機会や子育て支援事業の情報が子育て世代に十分に知られておらず、またそのため活用されていないことが要因の一つと考えられる。

課題（上記要因を解消するために必要なこと）

- ・子育て家庭の満足度を高め、安心して子育てできるよう、身近な相談・支援体制の充実や、地域社会全体で子育て家庭を支援する仕組みを充実していく必要がある。また、さまざまな機会や広報媒体を活用して情報提供に努めていく必要がある。
- ・年度当初の保育所待機児童は0人であるが、保留となった児童や途中入所できていない児童もいるため、要望に対応した保育所（入所枠）の確保に努めていく必要がある。

平成 27 年度東成区運営方針

主な取り組みと中間振り返り

- ＜取組実績＞
- ・取り組み名【子育てネットワーク構築支援事業】
 - ・地域子育てサークル合同イベントの開催（7月）すくすくつながる運動会の開催（9月）
 - ・「子育て応援隊」の地域子育てサークルへの参加：4回
 - ・「ひがしなりっ子 すくすく・つながるクラブ」の登録者数：849人
 - ・取り組み名【子育てにかかる情報提供の充実】
 - ・子育て応援隊による子育て情報誌の編集会議：2回
 - ・乳幼児健診、子育て支援機関等でのアンケート調査：8回
 - ・取り組み名【保育所待機児童の解消】
 - ・保育所長会や民間園長会へ訪問しての働きかけ

＜中間振り返り＞

取り組みは予定どおり進捗しており、目標を達成できる見込みである。

課題 2 教育環境と子育て支援の充実「子育て支援」

平成 28 年度東成区運営方針策定の方向性

区役所が考える方向性

- 【めざすべき将来像】（概ね10～20年を念頭に設定）
- ・地域社会全体で子育て家庭を支援する環境が整い、子育て家庭が安心して子育てができる状態

- 【めざす状態】（概ね3～5年を念頭に設定）
- ・子育て家庭が地域で気軽に相談でき、必要な支援や情報を受け取ることができる状態

- ・「ひがしなりっ子すくすく・つながるクラブ」の充実を図り、子育て家庭と地域のつながりづくりを支援する。
- ・子育てに役立つ情報を提供する。
- ・待機児童の解消をめざして保育所（園）に受け入れ児童の増加を働きかける。

メ モ



「子育て応援隊」による活動の様子



「すくすくつながる運動会」